

みどりの風

令和7年2月17日発行 No.17

校長 池田 誉

ありがとうの会

2月5日(水)に、地域学習でお世話になった方や学校支援ボランティアの方をお招きして、「ありがとうの会」を行いました。合わせて14名の方が参加してくださいました。

各学級で作業を分担し、児童が中心となって準備を進めました。3・4年生が考えたクイズと「絵しりとり」のゲームでは、大人と子どもが一緒に作業して楽しめるよう工夫されていて、和やかな雰囲気になりました。

5・6年生は、この1年間に地域の方にお世話になって行った活動について、紙芝居で発表しました。改めて、多くのことで地域のみなさんにお世話になったことがわかりました。

そのあと、全校合唱「あなたにありがとう」を聴いていただき、1・2年生が作ったイチヨウの葉を使ったしおりをプレゼントしました。

短い時間でしたが、お客様も子どもたちも、リラックスして楽しんでいました。地域の方々と接する機会を積み重ねて、子どもたちの豊かな心も育てていることを実感しました。

続けて行われた「第2回地域学校協働本部(学校支援ボランティア)総会」では、「富原っ子にどんな力をつけてほしいか」「そのためにできることは何か」について協議していただきました。熱心に話し合う中で、富原っ子のさらなる成長につながるたくさんのアイデアを出してくださいました。

今年度も地域の方々とふれあう機会をたくさんもつことができました。関わってくださる大人の思いを子どもたちも感じ取り、感謝の気持ちをもつとともに、富原のよさについて考えを深めることができました。創立150周年を迎える今年は、さらに多くの方とふれあう機会が増えるのではないかと思います。これからも、富原の子どもたちの豊かな成長のためにご協力をお願いいたします。



こんにゃく作りに挑戦！

1月23日(木)に5・6年生がこんにゃく作りに挑戦しました。綱島孝晴さんにご指導いただき、5月に親子で種芋を植えて12月に収穫したこんにゃくいもを使いました。

「皇子こんにゃく組合」に到着すると、組合員の方がすでに薪を焚いて大きな釜にお湯を沸かして準備をしてくださっていました。凝固剤として使う灰汁を抽出する様子や、ゆでて冷凍したこんにゃくいもをミキサーで細かくする様子を見せていただき、いよいよ子どもたちも作業に挑戦。大きなたらいの中で柔らかくなつたいもと灰汁を混ぜて、手でかき混ぜました。

粘り気の強いこんにゃくの感触に驚いていた子どもたちですが、丸い形に整える方法を教えてもらい、沸騰したお湯の中に入れていきました。何回かすると、だんだん上手になり、きれいな形のこんにゃくがゆであがりました。

お待ちかねの試食では薄く切ったできたてのこんにゃくを、しょうゆやポン酢をつけていただきました。手作りこんにゃくのおいしさにみんな大喜びでした。児童が作ったこんにゃくは、お土産として持ち帰りました。

地域の特産品であるこんにゃく作りに児童が挑戦したことは、大きな価値があると思います。富原には伝統あるすばらしいものがたくさんあることを、改めて確かめることができました。ご指導いただいた綱島さん、皇子こんにゃく組合の皆様、種芋の植え付けと一緒にくださった保護者の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。



創立150周年記念事業実行委員会スタート！

今年は富原小学校創立150周年という記念すべき年です。富原小「学校運営協議会」では「地域の多くの方と一緒にこの創立150周年を祝いたい」と考え、記念事業を行うことになりました。事業を行うに当たり、地域の幅広い年代の方に実行委員をお願いし、1月28日(火)に第1回の実行委員会を開催しました。

まず、この会の目的や方針を確認し、実行委員長に米山孝さんを選出しました。そして、どんな事業を行いたいのか、グループで活発に意見を交わしました。

その結果、以下の内容が決まりました。

- ・ 記念式典 11月15日(土) 学習発表会終了後 小学校体育館にて
- ・ 実行委員を「記念誌・写真」班、「イベント」班、「式典・展示」班に分け、各班で内容を協議し、準備を行う。

すでに各班で、それぞれの分担について協議が始まっています。この記念事業が、多くの住民の方に参加していただき、喜んでもらえるものになるようにと、準備を進めていく予定です。地域の皆様にもご協力をいただくことがあると思います。ぜひともよろしくお願いいたします。

